

第1節 教育・保育事業(P28～31)

- 1. 学校教育の提供(幼稚園・認定こども園)(P28)
- 2. 保育の提供(保育所・認定こども園・地域型保育事業)(P30)

	計画		実績		担当課	(C)令和元年度進捗状況	(D)第一期計画(平成27年度～)に関する取組みの評価
	(A)令和元年度必要量(見込み量)	(B)令和元年度提供量(確保量)	(A')令和元年度必要量(実績値)(応募人数)	(B')令和元年度提供量(実績値)			
1号(3～5歳)	1,900人	2,814人	1,362人	1,362人	子育て支援課(幼稚園)	必要量の見込みが1,900人のところ、実績は1号全体で1,721人で計画値を下回りました。提供体制は必要量の見込みを確保しており、十分な提供体制となっています。	提供実績は、H28年度については、見込み量を上回る利用があったが、H29年度以降の実績は見込みを下回り、微減傾向となっています。今後も余裕ある提供体制を活用するため、教育内容の充実などによる、更なる活性化が望まれます。
			359人	359人	保育課(認定こども園等)		
2号(3～5歳)	1,112人	1,211人	1,099人	1,089人	保育課	必要量が計画値を下回り、定員も必要量以上を確保しているものの、実際の利用者がいなかったため、提供量(実績値)は少なくなっています。	新規施設の整備により提供量は増加していますが、待機児童解消には至っていません。ただし、4・5歳児クラスには余裕がある状況です。今後も保育需要の動向を注視し、対応を検討します。
3号(0歳)	174人	185人	179人	159人	保育課	必要量は概ね計画値どおりであり、定員も必要量以上を確保しているものの、実際の利用者がいなかったため、提供量(実績値)は少なくなっています。	新規施設の整備により提供量は増加していますが、待機児童解消には至っていません。ただし、受入れに余裕がある施設があることから、引き続き、利用可能枠の周知を徹底します。今後も保育需要の動向を注視し、必要に応じて新たな施設整備を検討します。
3号(1～2歳)	792人	804人	849人	781人	保育課	必要量が計画値を大幅に超え、提供量も計画値を確保できませんでした。	新規施設の整備により提供量は増加しましたが、保育需要が想定より高く、待機児童解消には至っていません。今後も保育需要の動向を注視し、必要に応じて新たな施設整備を検討します。

第2節 地域子ども・子育て支援事業(P32～43)

- 1. 利用者支援(P32)

	計画	実績	担当課	(C)令和元年度進捗状況	(D)第一期計画(平成27年度～)に関する取組みの評価
	(A)令和元年度提供体制	(A')令和元年度提供体制			
提供か所数	2か所	2か所	保育課	計画どおりとなりました。	計画どおりの提供体制を確保できました。

2. 延長保育(時間外保育事業)(P33)

	計画		実績		担当課	(C) 令和元年度進捗状況	(D) 第一期計画(平成27年度～)に関する取組みの評価
	(A) 令和元年度必要量(見込み量)	(B) 令和元年度提供量(確保量)	(A') 令和元年度必要量(実績値)(応募人数)	(B') 令和元年度提供量(実績値)			
保育所での実施総数	1,122人	1,122人	955人	1,836人	保育課	提供か所数は計画値以上となりました。必要量に対して十分な提供量を確保できました。	必要量に対して十分な提供量を確保できました。
提供か所数		20か所		22か所			

3. 放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業)(P34)

	計画		実績		担当課	(C) 令和元年度進捗状況	(D) 第一期計画(平成27年度～)に関する取組みの評価
	(A) 令和元年度必要量(見込み量)	(B) 令和元年度提供量(確保量)	(A') 令和元年度必要量(実績値)(応募人数)	(B') 令和元年度提供量(実績値)			
小学1～3年	710人	803人	975人	975人	保育課	令和元年度は入室希望者数(必要量(実績値))が1,349人(前年度比172人増)でした。小学校の体育館や特別教室等を借用し、児童の生活スペースを確保しました。 なお、放課後児童クラブの利用者は、毎日利用する児童と週のうち数日利用する児童があり、毎日の利用率は70～80%の間で推移しています。	必要量、提供量とも増加しています。今後も需要の動向を注視しながら、必要に応じて新たな施設整備について検討していきます。
小学4～6年	266人	301人	374人	374人			
クラブ数		23か所		23か所			

4. 子育て短期支援事業(P35)・・・富士見市緊急ファミリー・サポート事業

	計画		実績		担当課	(C) 令和元年度進捗状況	(D) 第一期計画(平成27年度～)に関する取組みの評価
	(A) 令和元年度必要量(見込み量)	(B) 令和元年度提供量(確保量)	(A') 令和元年度必要量(実績値)(応募人数)	(B') 令和元年度提供量(実績値)			
人数/提供か所数	5人	1か所	4人	1か所	子ども未来応援センター	宿泊を伴う利用者は例年0～5人で推移しています。令和元年度は宿泊を伴う利用は4人でした。	計画どおりの提供体制を確保することができました。宿泊を伴う利用が少ないため、制度の周知に努めていきます。

5. 乳児家庭全戸訪問事業(P36)

	計画		実績		担当課	(C) 令和元年度進捗状況	(D) 第一期計画(平成27年度～)に関する取組みの評価
	(A) 令和元年度必要量(見込み量)	(B) 令和元年度提供量(確保量)	(A') 令和元年度必要量(実績値)(応募人数)	(B') 令和元年度提供量(実績値)			
訪問件数	916件	/	/	723件	健康増進センター	母子保健推進員による全戸訪問と、保健師による希望制の訪問を実施し、子育て支援に関する情報提供や養育環境の把握、必要に応じた支援をしています。長期里帰りの場合は里帰り先に訪問依頼したり、電話相談で対応しているものの、訪問拒否、連絡がつかない家庭もあり、4か月児健診には全数把握できるよう努めています。新型コロナウイルス感染症のため、予防に留意して訪問活動は続けましたが、訪問拒否等による影響があり、訪問件数が減少しています。	平成27、28年度は見込み量を上回る訪問ができましたが、29年度は連絡や都合がつかない、訪問拒否等により実施率が低下しました。そのため、30年度は連絡のとり方を工夫する等し、再び見込み量を上回ることができました。令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響による訪問拒否が増えましたが、引き続き、全戸に近い訪問になるよう感染予防策をふまえた事業周知や連絡方法の工夫に努めます。
実施率	91.0%			90.5%			
訪問対象家庭数	(出生数見込み1,007人)			799人			

※訪問対象家庭数を1月～12月に生まれた乳児のいる家庭数にしているのは、訪問実施月齢が約生後3か月前後のため、年度(4月～翌年3月)の訪問件数の実施率を算出するために、このような捉え方になっている。よって、実質的な実施率を算出するため訪問対象家庭数を利用する。

6. 養育支援訪問事業及び子どもを守る地域協議会(要保護児童対策地域協議会)その他の者による要保護児童に対する支援に資する事業(P37)

	計画		実績		担当課	(C) 令和元年度進捗状況	(D) 第一期計画(平成27年度～)に関する取組みの評価
	(A) 令和元年度必要量(見込み量)	(B) 令和元年度提供量(確保量)	(A') 令和元年度必要量(実績値)(応募人数)	(B') 令和元年度提供量(実績値)			
人数/実施機関数	10人	1か所	1人	1か所	障がい福祉課	令和元年度の実績について、1件の家庭に58回ホームヘルパーが訪問し家事の支援を行うとともに、母子保健の保健師も訪問して子育ての助言や相談の対応を行いました。	児童虐待についての通報が増加している状況で、通報の中には母親に精神疾患や育児能力が乏しいなど支援が必要な様子がみとれます。ただし、当該家庭が支援を受け入れるまでに説得等の時間を要する的多い他、支援自体を拒否することも少なくないことから、本事業の実施にあたっての対応にあたる職員のより高い専門性の確保が必要となっています。又、市内でホームヘルパーを派遣する全ての事業者が事業の受託を問い合わせたところ、多くの事業者が難色を示したことから事業者の確保が課題となっています。

7. 子育て支援センター(地域子育て支援拠点事業)(P38)

	計画		実績		担当課	(C) 令和元年度進捗状況	(D) 第一期計画(平成27年度～)に関する取組みの評価
	(A) 令和元年度必要量(見込み量)	(B) 令和元年度提供量(確保量)	(A') 令和元年度必要量(実績値)(応募人数)	(B') 令和元年度提供量(実績値)			
人数	69,944人	73,000人	44,963人	44,963人	保育課	平成30年度と同じく9か所での事業実施となりました。必要量(利用者)は見込みより少ない状況でした。	提供量については、5年前と比べて増加しています。提供か所数については、計画上の10か所を確保できなかったため、引き続き、実現に向け取り組んでいきます。
提供か所数	/	10か所	/	9か所			

8. 一時預かり事業 (P39)

	計画		実績		担当課	(C) 令和元年度進捗状況	(D) 第一期計画(平成27年度～)に関する取組みの評価	
	(A) 令和元年度必要量(見込み量)	(B) 令和元年度提供量(確保量)	(A') 令和元年度必要量(実績値)(応募人数)	(B') 令和元年度提供量(実績値)				
1号認定(幼稚園)	18,984人	/	10,538人	10,538人	子育て支援課	実績値は見込量を大幅に下回っているため、十分な提供体制が整っていると考えられます。	見込み量を大きく下回っており、十分な提供量を確保しています。	
2号認定(幼稚園)	55,125人		26,196人	26,196人				
保育所等による	15,423人		4,574人	4,574人	保育課	保育士不足等による事業の休止などにより、提供量を計画通りに確保することができませんでした。		保育士不足等による事業の休止などにより提供量が減少傾向です。保育士確保が喫緊の課題です。
提供か所			18か所	16か所	子育て支援課 保育課	3か所休止しているため、計画値どおりの提供量を確保できませんでした。		保育士不足等による事業の休止などにより提供量が減少傾向です。保育士確保が喫緊の課題です。

9. 病児・病後児保育事業(病児保育事業)(P40)

	計画		実績		担当課	(C) 令和元年度進捗状況	(D) 第一期計画(平成27年度～)に関する取組みの評価
	(A) 令和元年度必要量(見込み量)	(B) 令和元年度提供量(確保量)	(A') 令和元年度必要量(実績値)(応募人数)	(B') 令和元年度提供量(実績値)			
人数	675人	2,450人	785人	2,450人	保育課	必要量は計画値を上回りましたが、十分な提供量を確保できています。	利用者は増加傾向にありますが、提供量は確保できています。利用率の向上を図るため、広報等でさらなる周知に努めます。
提供か所数		4か所		4か所			

10. ファミリー・サポート・センター(子育て援助活動支援事業)(P41)

	計画		実績		担当課	(C) 令和元年度進捗状況	(D) 第一期計画(平成27年度～)に関する取組みの評価
	(A) 令和元年度必要量(見込み量)	(B) 令和元年度提供量(確保量)	(A') 令和元年度必要量(実績値)(応募人数)	(B') 令和元年度提供量(実績値)			
提供体制(未就学)	4,872人	3,719人	3,334	3,334	子ども未来応援センター	依頼会員の登録は年々増加しています(平成30年度4,852件、令和元年度4,957件)。依頼会員数に対して、提供会員数は全体的に少ない状況ですが、実際の援助活動件数(実績)は、見込み量を上回る提供量を確保できました。また、令和元年10月に、子ども未来応援センターにファミリーサポートセンターの機能を移転しました。妊娠届提出時にファミリーサポートセンターの周知が可能となりました。	依頼会員と比べ、提供会員が少ない状況が続いているため、提供会員の増員が課題です。ファミリーサポートセンターの活動や内容を知っていただくため、各種講座の開催や広報への掲載、会員へのお知らせ(メールや郵送)、施設へのパンフレット配布等を引き続き実施していきます。また、活動をしていない会員に対し、預かり体験を行う交流会を平成29年度から実施し、実際の活動に繋げています。また、近隣市町との担当者会議(情報交換会)を毎年開催し、情報収集しています。会員に対する支援環境の充実に努めていきます。
提供体制(小学生)		1,148人	1,623	1,623			
合計	4,872人	4,867人	4,957人	4,957人			

11. 妊婦健康診査事業(P42)

	計画	実績	担当課	(C) 令和元年度進捗状況及び評価	(D) 第一期計画(平成27年度～)に関する取組みの評価
	(A) 令和元年度見込み量	(A') 令和元年度実績値			
延べ受診者数	23,800人	19,894	健康増進センター	国が示す実施基準に基づき、14回までの妊婦健康診査に関する費用の一部を助成しています。令和元年度から新たに、11回目の助成券に新項目(ノンストレステスト)を追加して助成しています。ほぼ全数に近い妊婦が定期受診しており、引き続き受診しやすい体制づくりと、必要に応じた支援に努めます。	ほぼ全数に近い妊婦が、国が示す基準にそって受診することができます。また、妊娠届出時の面接や医療機関等からの連絡により、必要な支援につないでおり、今後も妊娠期からの切れ目のない支援に努めます。
助成券(※)1回目利用者数	1,060人	818			
妊娠届出数	1,100人	849			

※以前は受診票と助成券とがあったが、現在はすべて助成券で統一されているため、表記を変更した。